

今回の東京大学企業訪問研修では、二日という短い期間ではありましたが、充実したものとなり、たくさん  
のことを学ぶこともできました。

特に企業大学訪問で私達の班が行った放射線医学総合研究所では、医学分野という事で私の将来についても考  
えさせられました。放射線医学とは主にガン治療を中心に行っていて、「他の方法より短期間で治す」をモットー  
に働いておりました。

しかし、みなさんは3月11日の福島第一原子力発電所の事故以降、放射線にたいして少し怖いという印象が  
あると思います。しかし、放射線も使い方によっては便利に安全に使うことも出来るのです。放射線治療は手術  
と比べ再発の可能性も極めて低く、手術のできない部位を治すことができるという利点があります。これは、放  
射線の強さや大きさを調整することが可能だからです。機械によって放射線を当てる部位を決めて、そこを塗り  
つぶす感覚で放射線を当てて治すため、ほかの部位への影響も少なくて済むのです。また、人間のからだの奥に  
入り込むことも容易なため手術では入ることのできない場所を治すことが出来るのです。それでも放射線は怖い  
と言う方もいらっしゃると思います。しかし、放射線によって治療の間はDNAに傷つくことはありますがDNA  
は、毎日修復が行われているため人体へのえいきょうのしんばいはないのです。しかしそれほど危険なもの扱  
うため準備は正確に行っていて、0.1ミリメートル単位で機械や患者さんの位置をそろえなければならないので  
す。それ以上に医者というのは一つの命を預かっているのです、失敗は許されません。そんな大きな責任がありま  
すが、治した後の患者さんの元気になった様子を見たいという気持ちから医者としての仕事のしがいを感じるの  
だとおもいました。そんな仕事のせいか施設のなかはとても静かで真面目に仕事に励んでいる様子が見受けられ  
ました。将来、私も社会に貢献出来る仕事につきたいと、強くおもうようようになった瞬間でした。放射線医学  
総合研究所のみなさんには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。貴重な体験をさせてくださりありがとうございました。

そして、ディレクトフォースで行った三菱商事では、たくさんの人々が様々な得意分野を生かし、外国に行っ  
たり、遠くに行ったりして、社会のために働いている姿が見受けられました。三菱商事の社員の方々はお金のた  
めに仕方なくやらされているといった感情は全く抱いていないように見えました。すべての人が日本のため、世  
界のために働きたい少しでも多くの人に幸せにってもらいたいと願っているように感じました。そんな感情から  
か、分野を細かく分けて専門的に仕事を行わせたり、その人それぞれにあった仕事をさせているように見受けら  
れました。このようなことから目先の利益だけを考えたり、自分のことばかり考えてしまっただけではいけないと改め  
てきづくことができました。仕事で一番大切なのは人のためにと率直に思い、願うこと、そして、実現しようと  
する気持ち、行動力だとわかりました。これから今までの心持ちを改心して、社会のために少しでも貢献出来る  
よう、つくせるよう、社会における基礎を磨きあげ、一人前の大人になりたいと思いました。

実際にも勤めている仙台第二高等学校出身の先輩にも話をうかがうとやはり、仕事には子供の頃培った能力が  
必要となるとか、社会貢献しようと思う力が必要だと語っていただきました。そして、その前に大切な大学選び  
では、自分の将来を見据えて、しっかりと学部などを選んだ方が絶対良いことを教えてもらいました。それを聞  
く前までは、適当に工学部に行こうなどと軽い気持ちで考えていたのですが、自分の進路等を見つめなおす絶好  
の機会となりました。そのお陰で志望大学、学科を的確に選ぶことができるようになりました。だが、その前に  
立ち足る高校での勉強というめんでは、先輩には必ず英語はなにをするにしても使うから絶対やっつけと言  
われたので特にちからを入れてやっていきたいと思います。そんなことを考えていると、進路選択は勉強と似て  
いると感じました。自分のやりたい分野を伸ばすために頑張るという面で同じだと思いました。しゃかいにで  
て！会社に勤めても自分に任された分野を本気で出来るように今のうちから勉強を熱心にやろうとおもいまし  
た。そして、先輩方からは勉強のしかたを教えていただいたのでぜひ、それを実践していきたいです。

今回の研修の醍醐味でもある東京大学訪問では、自分の持っていた印象と違い驚きました。東大に行く前は、

東京大学はとても静かでみんな真面目に勉強していて、話している人などどこにもいないと、勝手に想像していましたが、実際に行ってみるとまるで雰囲気は違い、盛んにはなし、運動なども行っていました。頭がよく、優秀な生徒の通学路はやはり違って、やはり、いい雰囲気だと感じ、私もそんな大学に行きたいと、校内に入ったとたんに思いました。

さらに、東京大学の中に触れ、大きな衝撃を受けました。外の空気とはうって変わって、先生方や生徒の皆さんが、スイッチを入れたとたんに真面目に勉強を始めました。このスイッチの切り替えの上手さに感動を覚えました。そして迎えた模擬授業では、日本各地から集まった東京大学を目指す高校生と思うと、賢そうな面構えで、心が震えました。

また、東大生は頼もしく将来社会の助けになってくれそうな人達ばかりでした。良い友達を得られるという面でも、やはり一流の大学は魅力的、と心惹かれる思いでした。

講義を受けて、高校とは違い、授業では先生が一人一人独自の見解を持ち、必ずしも、正しいわけではない答えの曖昧さに驚かされました。だからこそ、たくさんの意見が飛び交い、他者の意見を受け入れ、良質な講義になるのだと気付きました。

一つ一つの細かい出来事や事柄について、提案していく大学の講義は有意義で楽しい反面、レベルが高く、進捗早く、分かりにくいところもありました。

何とかついていけるよう、勉強の積み重ねを大切にせねば！と、思いました。

東京での数多くの経験を通して、自分の知らないたくさんしたこと、素晴らしいことを知ることができました。東京の街中を歩いていると、日本の中心地で働く人達の姿を間近で感じ、圧倒されました。

見えない所で働く人々の訪問により知り得たこと。歩くことにより見える所で働く人々の姿。それぞれを知ることができました。

これらの経験を生かし、将来に繋がられるよう、今を生き、将来笑顔でいられる自分であるようにしたいです。

今回の研修でお世話になった先生方や、企業の方々には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

間接的ではありますが、私も社会に貢献し、恩返しを果たしたいと思います。